報道発表資料

報道関係各位

2021 年 9 月 15 日
ゲヒルン株式会社

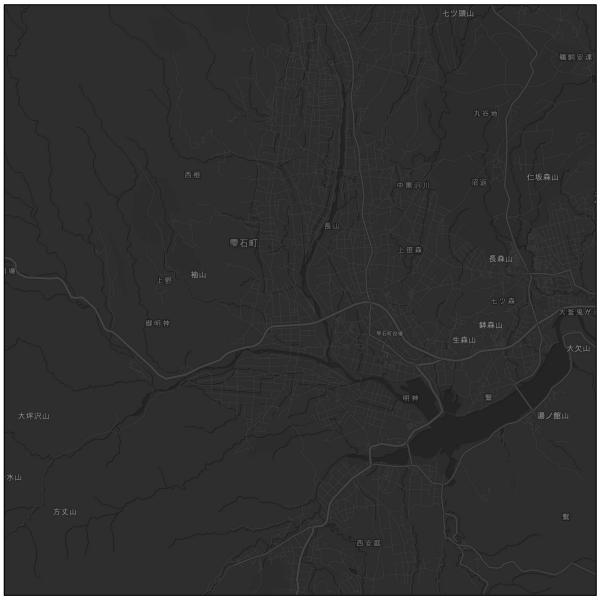
ゲヒルン、IBC岩手放送にハザードマップとキキクルを提供

ゲヒルン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：石森 大貴、以下「ゲヒルン」）**は、株式会社 IBC 岩手放送**（本社：岩手県盛岡市、代表取締役社長：鎌田 英樹、以下「IBC 岩手放送」）**と共同で岩手県内のハザードマップを整備・GIS 化し、IBC 岩手放送の防災情報アプリ「IBC つながるアプリ」上でハザードマップと気象庁のキキクル（危険度分布）を重ね合わせて表示できるよう技術提供を行いました。**

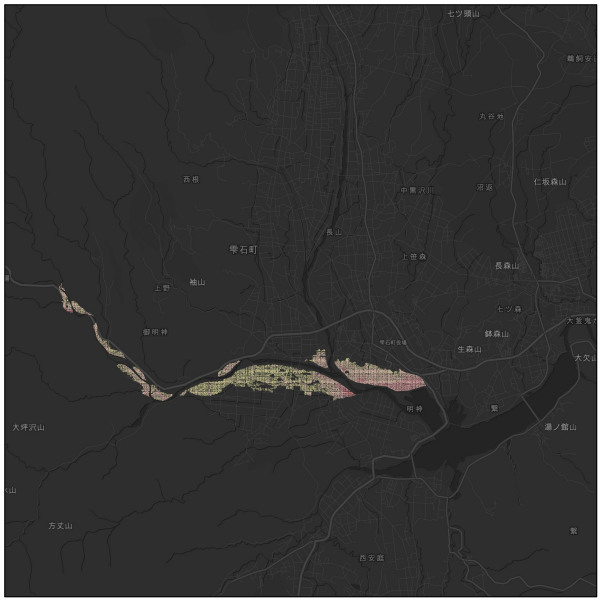
◆岩手県の最新ハザードマップを GIS 化

ゲヒルンと IBC 岩手放送は、岩手県内のハザードマップデータを整備するプロジェクトを共同で実施しました。

現在、国土数値情報や重ねるハザードマップで配布されている岩手県のハザードマップは、最新のものではなく、一部の危険区域が配布されているデータに含まれていないものもあり、国土数値情報をそのまま使用するだけでは、本来は土砂災害警戒区域や浸水想定区域に指定されている場所がデータ上では表示が行われないなど、不完全な状態となっていました。不完全なハザードマップを防災アプリに組み込んでしまうと、危険区域に指定されていない場所なのか、データが欠落していて本来は危険区域となっているところが表示されていないのか見分けがつかず、欠落した箇所が安全情報としてユーザーに認識されてしまう危険性があったため、これまで特務機関 NERV 防災アプリや IBC つながるアプリでは、ハザードマップの情報を掲載していませんでした。



国土数値情報（R1）



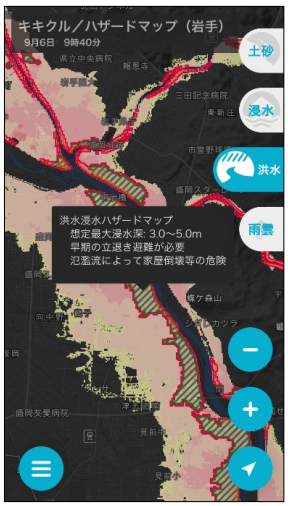
岩手県提供データ

今回、岩手県等からもご協力をいただき、ゲヒルンと IBC 岩手放送は、共同で最新（2021 年 9 月時点）のハザードマップを整備し GIS 化する作業を行いました。複数の河川の浸水想定が重なる区域を地理演算して、1 つのレイヤーとして表示できるようにするなど、ゲヒルンが独自にデータの調整を行っています。

◆ IBC 岩手放送の防災情報アプリ「IBC つながるアプリ」に技術提供

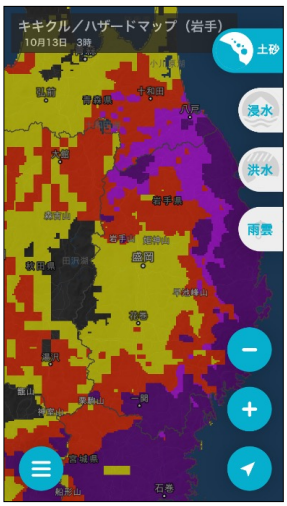
ゲヒルンは、IBC つながるアプリの「キキクル ON ハザードマップ」機能の開発にあたり、デザイン・実装・配信等の技術提供を行いました。

「キキクル ON ハザードマップ」により、ユーザーの現在地のハザードマップ情報と現在の危険度を重ねて表示できることから、避難行動の迅速な判断を支援することができるようになりました。

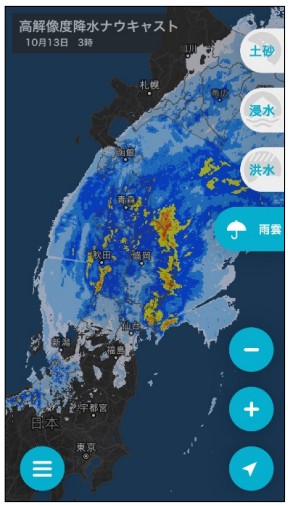


岩手県内の洪水・土砂災害最新ハザードマップ掲載

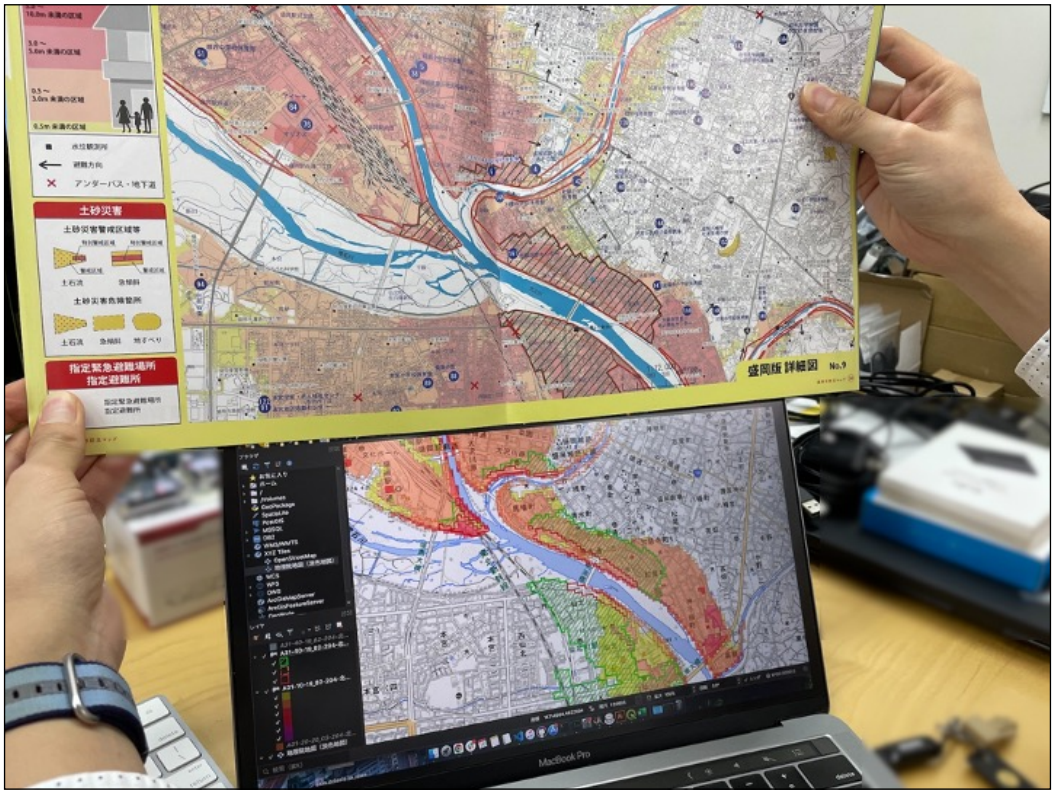
ハザードマップ上に洪水警報危険度分布（キキクル）表示



ハザードマップ上に土砂災害危険度分布（キキクル）表示



高解像度降水ナウキャストで雨雲状況をリアルタイム表示



ハザードマップ開発中の様子
（2021 年 3 月 26 日撮影）

ゲヒルンは、経験を重ねるたびに、情報の伝え方を考えたり見直したりしながら、正確な情報を迅速に届けるため、防災情報配信のシステムを整備してきました。今後も防災情報配信のさらなる強化に取り組んでまいります。

本件に関するお問い合わせ先

ゲヒルン株式会社 外務部 広報局 酒井・由井

電話：03-3263-2203 ／メール：pr@gehirn.co.jp